

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度の PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブ版が主体となりましたが、引き続き冊子版も発行し、ご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。ウェブ版 PF ニュースには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。

(<https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/oshirase.html>)

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-879-6196 FAX : 029-864-2801
Email : pf-news@pfiqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

編集後記執筆時の 4 月現在、長かった寒さがようやく収まり、厚手の上着を押し入れにしまい込み、春の訪れを実感する。私はまだ寒さ厳しい今年初めに、地方大学から KEK 近くのとある研究機関に異動した。大学では放射光を積極的に使った仕事をしており、新しい異動先でも放射光を使った実験が何かできないかと模索している。私は大学職員時代、PF 創設時から存続すると噂の、とある老齢な BL のヘビーユーザーとなった。当時の研究室の教授から最初にその BL へ案内されたときはとても驚いた。なにしろ MS-DOS とかいう厳しい名前前の OS を搭載したパソコンが BL に鎮座していたからだ。誰かにこのパソコンはシングルタスクだから不便かもと言われ、最初はその意味がよく分からなかった。実際にパソコンを触ってみると、二つのアプリケーションを同時に開くという現代人にとっては当たり前前の作業ができないという意味だと分かった。この BL での実験では、ここでは書ききれないようなことが色々あったが、現在ではこのパソコンは Windows OS に置換されている。1.5 MB 以上あるデータはフロッピー 2 枚で分割して、,、なんていうめんどくさい作業も今となってはいい思い出で、この BL の改造を通して放射光のことをとても深く理解でき（もちろん放射光施設の職員の方々には遠く及ばない）、まさに祖父母に育てて貰った感覚である。今後も思い入れのある KEK をユーザーとして下支えしたい。(R.Y.)

* 2025 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	熊井 玲児	物質構造科学研究所			
副委員長	鈴木真粧子	群馬大学 大学院理工学府			
委員	朝倉 大輔	産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門	川端 庸平	酪農学園大学 農食環境学群	
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	木村 耕治	名古屋工業大学 物理工学科	
	城戸 大貴	物質構造科学研究所	高木 宏之	加速器研究施設	
	佐々木大輔	和歌山県立医科大学 薬学部	田辺 幹雄	物質構造科学研究所	
	武田 崇仁	東京大学 大学院工学系研究科	引田 理英	物質構造科学研究所	
	中尾 裕則	物質構造科学研究所			
	松井 高史	富士フイルム (株) 解析技術センター			
	山根 峻	物質・材料研究機構 電子・光機能材料研究センター			
	和田 健	物質構造科学研究所			
事務局	加世田 薫 / 高橋 良美	物質構造科学研究所			